



就任・年頭のごあいさつ

二本松市長 新野 洋

新年おめでとうございます。
市民の皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年十一月の市長選挙の結果、私が市長に就任させていただくことになりました。

市議会議員五期の経験を生かし、各界各層の皆様のご意見をしっかりと受け止め、知恵をお借りしご協力をいただきながら、市政運営に当たっていききたいと思っております。

昨年は東日本大震災・原発事故の影響のほかに、八月のゲリラ豪雨被害が重なり、厳しい一年でありました。本年は除染と復興を加速させるべく、優先順位と政策効果をしっかりと検証し、各種事業を進めてまいります。

市民の皆様への命と健康を守り、風評を払拭するために、内部被ばく、外部被ばく、食品の放射線量検査を徹底継続し、相談体制を充実させてまいります。そして公共施設や住環境に潜むミニホットスポットの調査体制を整え、優先的に除染を進めてまいります。

合併してから八年間で約一割という急激な人口減少は二本松市の衰退に直結します。この対策としては、雇用環境や住宅環境の整備、中心市街地や農業・商業を含む地域産業の活性化、子育て支援、福祉の充実、教育環境

の整備、二地域居住を含む定住促進、観光交流人口の増加等、他市に負けない総合的な政策が必要になります。特に若者の定住促進には大胆な補助制度の創設が必要になります。

二本松、安達、岩代、東和四地域の均衡ある発展が重要です。各支所にある程度の子算と権限を持たせ、各地域が個性的な特色のある事業や整備が図られるように努力していききたいと思っております。特に岩代地区の小浜川改修については、地元の皆様のご意見を尊重し、県としっかりと協議し、特色あるまちづくりとなるよう進めてまいります。

その他数多くの懸案事項はありますが、二本松市長期総合計画、並びに二本松市復興計画にある各事業の継続性を大切にしながら、見直すべきは見直し、政策効果の高い行政執行に努めてまいります。

市長と市職員、そして五万七千人の市民の皆様とチーム二本松を組み、「今！二本松がかかわるとき」一緒になって、生き甲斐を感じ夢の持てる、素晴らしい二本松市を創り上げていききたいと思っております。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。就任と年頭の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

二本松市議会議長 齋藤賢一

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、新春をお健やかに迎えのこと心からお慶び申し上げます。

常日ごろ、市政に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。私も議長に就任以来、市政の伸展と円滑なる議会運営に力を注いでまいりました。市民の皆様方から寄せられました温かいご指導やご厚情に對しまして、深く感謝申し上げます。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、一〇〇〇日以上も経過した現在においても市民生活に大きな影響を与え続けております。一刻も早い収束は、全ての市民の願いであります。放射性物質の除染を早期に完了させ、市民の皆様が安心して暮らせる生活環境を回復させる必要があります。そして、市民生活が事故前以上の元気・活力を備えることができるよう、復旧・復興事業に取り組んでいかなければなりません。原発の廃炉など様々な課題もありますが、ふるさと二本松市の再生と、さらなる発展に向けて引き続き市民の皆様のご支援とご協力を
お願い申し上げます。

昨年は、富士山の世界遺産登録、東京オリンピック開催決定などの明るいニュースもありました。アベノミクス効果が地方では徐々に現れてきた中、消費税の引き上げが決定された年でもありました。

本市など地方都市を取り巻く環境も一段と厳しさを増し、地方自治体の自立が求められております。二本松市の将来について、誤りのない選択、判断をするために、諸施策に建設的な提言ができるように、議論を重ね、活発で闊達な議会運営が行われるよう、時代に即応した議会を目指し、改革を進め、議員一丸となつて研鑽に努め、市民の皆様への負託に応えていく所存であります。引き続き市議会活動に對しまして、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春を迎え、市民の皆様への限りないご多幸とご健勝、一日も早い復旧・復興を心からご祈念申し上げます。議会を代表しての新年のごあいさつといたします。

二本松市の一日も早い復旧・復興を！